

Red Hat ソリューションのビジネス価値および他の無償ソフトウェアとのコスト比較

IDCの調査から、商用サポートのあるRed Hat 製ソフトウェア、つまりRed Hat Enterprise Linux、Red Hat OpenStack、Red Hat OpenShift、Red Hat Ansibleなどをサブスクリプションで利用することは、その課金のための費用負担を大きく上回る価値を持つことが示された。特に、複数のRed Hat ソリューションを組み合わせることで、その効果はいっそう大きなものとなる。

主な結果



35%

3年間の運用コスト削減



368%

3年間のROI



5か月

投資回収期間

顧客の声

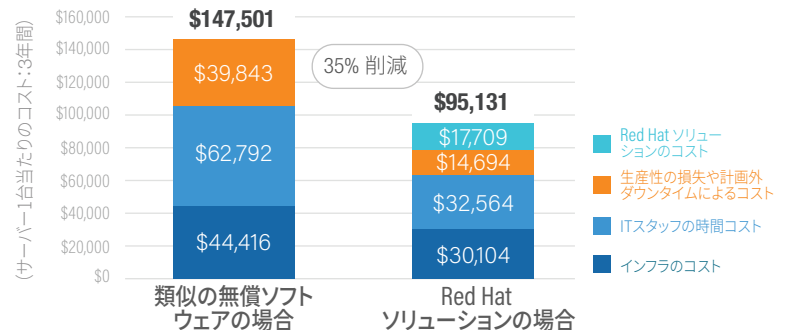


「当社は[他の無償ソフトウェア]を3年間利用していました。さまざまな理由から、Red Hat Ansible への移行を決断しました。その主なものは、ロールベースのアクセス、およびダッシュボードの自動化です」

Red Hat製品でITのコスト削減と効率化を実現

- **32%** サーバークストの削減
- **38%** ITインフラチームの効率向上
- **55%** ITヘルプデスクチームの効率向上
- **34%** 開発や新規アプリリリースの速度向上

サーバー1台当たりの3年間の運用コスト



顧客の声



「もし無償版を導入していたら、さらに多くのトレーニングが必要になっていでしょう。弊社の場合25人ほどがトレーニングの対象です。それぞれに年間4-6週間かかり、1人当たり約\$2,500ドル/週のコストが必要になったはず」

ビジネスと運用におけるベネフィット



63%

計画外ダウンタイムの削減



354万ドル

組織当たりの年間売上額の向上



49%

サービスリクエストに対する処理の迅速化